



かたくり

教育目標 ～ 夢ふくらませ 心かがやく ～

体験を通して学ぶ ふるさとのよさ

11月を振り返ってみると、11月1日の開校記念日に全学年で行った「ようこそ！ふるさと先生」を始め、各学年での体験的な学習がたくさん行われた1ヶ月間でした。西明寺地域、そして広く仙北市の豊かな自然・歴史、そして人との出会いから、子どもたちは多くのことを学んでいます。写真や振り返りの作文等でその一部をご紹介します。また、子どもたちが委員会活動で企画した児童集会も目白押しで、図書集会・ミニスポーツ大会等で元気あふれる毎日でした。なお、12月も3年生がほうれん草農家を見学させていただいたり、5年生がかたくり館を訪問し、紙漉き体験をしたりする予定が続きます。

1年生



来年の4月、2年生になる頃にはかわいいチューリップが芽を出していることでしょう。来年の入学生と一緒に球根植えをしたり、秋祭りに招待したりし、やさしいお兄さんお姉さんぶりを発揮しました。

2年生



3年生

← ミニスポーツ大会にチャレンジ！ →



興味の範囲がどんどん広がっている2年生は児童集会にも積極的で、指先の巧緻性も伸びています。折り紙作りで栗山日那さんは作文に「小さいこびとを作る時はできないと思ったけど、何個も作っているうちにできるようになりました。うちでも作りたくなりました。」と書き、嬉しそう。自分の力に気づき、そしていっぱいふるさと先生に褒めていただいたのでしょう。自信に繋がったようです。

3年生は社会科で自分達の住む町について勉強中。ふるさと先生として、田沢湖の辰子姫伝説の語り部の皆さんや角館の歴史案内人の方からたくさん学びました。I.Mさんは「辰子伝説を全部暗記しているなんてすごい！」T.Yさんは「オカリナで春の小川を演奏して上手だった。」とお礼の作文に書き、地域の人との出会いに大変刺激を受けたようです。3年生の子どもたちの地域に関する学習への興味関心も一層高まってきています。

4年生



茶道体験。おいしいお菓子とお茶をいただき、「一期一会」を大切にするおもてなしの心を学びました。



2回目の交流ではせんぼく校のお友だちが西明寺小に来てくれました。どうしたら楽しんでもらえるかなと一生懸命な4年生でした。茶道体験では、H.Yさんが「一番心に残ったのは、お茶の飲む時にお茶の葉を摘んでくれた人、運んでくれた人、点ててくれた人のことを思って“押し頂きます”ということです。」と感想を書いていました。ふるさと先生にお茶をとおして感謝することの大切さを教えていただきました。



5年生



ふるさと先生の新山様からカメラを通して物を見る面白さを教えてもらった5年生。K.Mさんは「今度は家でもいろいろな写真を撮ってみたい」とのこと。醤油博士出前授業では発酵の不思議に興味をもち、教科の授業を発展させることができました。子どもたちの撮影した写真作品は5年ワークスペースに展示中ですので、ぜひご覧ください。

6年生

内陸線で角館駅へ出発



醤油博士の田村さん



6年生は社会科学習として角館の武家屋敷や情報センターで解体新書のレプリカを閲覧しました。作文で「解体新書を作ったのが秋田の人だと知ってとても嬉しかったしびっくりしました。」とF.Sさん。「武士はどんな戦い方をしていたのかな」とH.Sさん。本物に出会って、もっと知りたいという意欲が湧いたのかも。仙北市を誇りに思える歴史に出会うことができ、学習への意欲も高まったようです。



国際教養大学では、ちょっと難しいけれど一生懸命留学生の自己紹介を聞き取り、最後は笑顔でプレゼンできました。偶然にも、カフェテリアで西明寺小学校の卒業生とお会いできて、子どもたちも嬉しそうでした。

【おしらせとお願い】12月4日(水)は、4～6年生で秋田県学習状況調査が実施されます。この機会に全学年で家庭学習の継続と前期までの復習に力を入れています。各ご家庭でもお子さんの宿題などに目をおして学習の状況や取り組みの見届けをよろしくお願い致します。復習はほんの少しのアドバイスで、すぐに間違い直しできる場合が多いようです。